**< 運営推進会議における評価\_様式例 >　※公表用**

別紙３－３

【事業所概要】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 法人名 | 株式会社　　花利 | 事業所名 | 看護小規模多機能型居宅介護セレッソ |
| 所在地 | （〒583－9857）  羽曳野市誉田2-4-5 | | |

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

|  |
| --- |
| 看護があるため、医療ニーズの高い方の受け入れも可能である。主治医と連携し、体調変化にも適宜対応することができる。  通い・泊り・訪問を組み合わせるサービスであり、顔なじみスタッフとなり情報の共有が比較的スムーズである。  利用者・家族の思いをくみ取り、住み慣れた自宅をベースに療養生活を送れるよう、できる限りのサービスを提供している。  在宅での生活が難しくなってきた利用者様には、ニーズに応じて、次のサービス提供も行っている。  看取りも行うが、家庭的な雰囲気を重視し、リクレーションや庭作りなど利用者の方々に楽しく過ごしていただくよう取り組んでいる。  新型コロナウイルス感染対策にも、スタッフ全員で取り組んでいる。 |

【自己評価の実施概要】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業所自己評価  実施日 | 西暦　2023　年　1　月　10　日 | 従業者等自己評価  実施人数 | （ 9 ）人　　　　　　　　※管理者を含む |

【運営推進会議における評価の実施概要】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 実施日 | 新型コロナウイルス感染状況により、文書で回収（2/28） | 出席人数（合計） | 左記参照 |
| 出席者  （回収内訳） | □市町村職員（ 1人）　　　　□地域住民の代表者（ 3 人） 　□利用者の家族（ 10 人）　　□知見を有する者（ 人） | | |

■ 前回の改善計画の進捗評価

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | | 前回の改善計画 | 実施した具体的な取組 | 進捗評価 |
| Ⅰ．事業運営の評価  （評価項目1～10） | | ・人材確保  ・年間研修計画をたて、担当者をつけて実施  ・各会議の担当をつけ、責任遂行  ・災害時避難訓練実施と災害マニュアルの適宜見直し  ・BCP（事業継続計画）作成 | ・各種求人活動  ・研修受講（e-ランニング）  ・毎月の勉強会  ・各種会議の定期開催  ・利用者のケア会議  ・情報共有のシステム化  ・災害時シュミレーション  ・有給消化  ・BCP作成 | 求人を継続し、パートなど確保し、研修受講してもらい正職員へつないだスタッフも1名あり。業務内容の見直しにより職員の有給消化にもつなげる事ができた。  　コロナ禍にて各自WEBでの勉強会に参加した  各係・会議も担当者を中心に遂行できた。  災害時シュミレーションも行った。  　BCPについては今後、手直しや、追加が必要  【意見】人材を確保できてよかった。  人材確保は難しい状況ですが改善できているのは良い傾向です。  様々な取り組みを計画的に実施できていると思います。 |
| Ⅱ．サービス提供等の評価 | １．利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供  （評価項目11～27） | ・現状継続だが、状況変化時には適宜サービスの見直しを行い、迅速に情報共有し、ケア・サービスを行う  ・情報共有その他に関しては現状継続。また新たな方法検討 | ・情報共有については、WEB活用し、状態変化や予定変更など周知できるようにした  ・ケアカンファレンスの開催  ・家族を交えた会議  ・サービスの見直し  ・個別介護目標の設定 | 左記の項目を行うことでスタッフ間での情報共有ができ、個別サービスへの提供に繋げることができた  【意見】24時間対応の事業所で情報共有への仕組みを構築するのは大変ですが、引き続き頑張ってください。 |
| ２．多機関・多職種との連携  （評価項目28～31） | ・病院・施設との連携・情報交換は現状継続  ・運営推進会議の開催継続 | 病院、施設との連携、情報交換（Webも利用）  ・運営推進会議  ・小規模分科会（地域）  ・大阪府訪問看護ST協会の看多機部会交流会への参加 | コロナ禍において、文書での会議開催も多かったが、集合やWEBでの開催にも参加することができた。  地域の病院や、南河内地区の訪問看護ST向けに看多機についての勉強会を行い、地域への看多機発信ができた |
| ３．誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画（評価項目32～41） | ・特定行為業務従事者研修の受講者を増やす  ・地域や、居宅事業所向けに何らかの方法で「かんたき」の勉強会を行う  ・「セレッソ新聞」の継続 | ・特定行為業務従事者研修の受講  ・「セレッソ新聞」を近隣地域へ配布継続。サービスの概要・健康の維持増進や疾病予防などを掲載した | 特定行為従事者研修を1名終了した。順次資格獲得予定である  　コロナ禍において、地域で集合活動はできなかったが、「セレッソ新聞」を配布した  【意見】忙しい中、資格取得できてよかった。新聞も継続してほしい。勉強会も頑張ってほしい。  　研修を継続することと、入退職のバランスをとるのが大変ですが頑張って下さい |
| Ⅲ．結果評価  （評価項目42～44） | | 利用者・家族の思いに沿った計画に基づき、サービスを提供し在宅療養生活の継続や看取りができるよう現状継続 | ・利用者、家族の状況変化時には、適宜サービス調整  ・看取りの実施 | 目標はほぼ達成 |

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | | 評価結果 | 改善計画 |
| Ⅰ．事業運営の評価  （評価項目1～10） | | 求人を継続、パートなど確保した。研修受講してもらい正職員へつないだスタッフも1名あったが、まだまだスタッフは充足していない。  　コロナ禍にて各自WEBでの勉強会に参加したが、今後も継続が必要である。  各係・会議も担当者を中心に遂行できたため、継続。来年度は虐待防止委員会の立ち上げが必要。  災害時シュミレーションも行ったが、訓練等継続が必要。  　BCPについては今後、手直しや、追加が必要 | ・人材確保  ・年間研修計画をたて、担当者をつけて実施  ・各会議の担当をつけ、責任遂行  ・災害時避難訓練実施と災害マニュアルの適宜見直し  ・BCP（事業継続計画）見直し  ・虐待防止委員会の立ち上げ |
| Ⅱ．サービス提供等の評価 | １．利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供  （評価項目11～27） | WEBのツールを使うことでスタッフ間での情報共有ができ、会議等の開催において個別サービスへの提供に繋げることができた | ・状況変化時には適宜サービスの見直しを行い、迅速に情報共有し、ケア・サービスを行うことを継続。  ・情報共有その他に関しては現状継続。また新たな方法検討 |
| ２．多機関・多職種との連携  （評価項目28～31） | 運営推進会議や地域での会議は、文書での会議開催も多かったが、集合やWEBでの開催にも参加することができた。  地域の病院や、南河内地区の訪問看護ST向けに看多機についての勉強会を行い、地域への看多機発信ができた | ・病院・施設との連携・情報交換は現状継続  ・運営推進会議の開催継続 |
| ３．誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画（評価項目32～41） | 特定行為従事者研修を1名終了した。順次資格獲得予定である  　コロナ禍において、地域で集合活動はできなかったが、「セレッソ新聞」を配布した | ・特定行為業務従事者研修の受講者を増やす  ・地域や、居宅事業所向けに何らかの方法で「かんたき」の勉強会を行う  ・「セレッソ新聞」の継続 |
| Ⅲ．結果評価  （評価項目42～44） | | 利用者、家族の状況変化時には、適宜サービス調整を行った。  看取りケアも行った。  目標達成と考える | 利用者・家族の思いに沿った計画に基づき、サービスを提供し在宅療養生活の継続や看取りができるよう現状継続 |

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

| 番号 | 評価項目 | 事業所自己評価 | | | | | | | | | | | | 運営推進会議における  意見等 | 評価の視点・  評価にあたっての補足 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| よく できて  いる | おおよそ  できている | | | あまりできていない | | | | 全く  できていない | | | |
| Ⅰ　事業運営の評価　［適切な事業運営］ | | | | | | | | | | | | | | |  |
| （１） 理念等の明確化 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| ① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| 1 | * サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている | ☑ |  | | |  | | | |  | | | | 地域の方に寄り添い、素晴らしい  理念を共有しサービス提供を実施されていることは、高く評価できる | * ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 * ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 * 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」 |
| ［具体的な状況・取組内容］  【理念】地域の人たちの思いに寄り添い、その人らしく暮らせるように全力でお手伝いします  【意味づけ】  ＊地域の人たち：利用者・家族様や関係する方々。利用者様だけでなく、この地域で生活・活動する方々  ＊思い：利用者・家族様においては、どのような生活が送りたいのか、元気な時にはどのようにおっしゃっていたのか、さまざまな思いがあると思います。地域の方々においては、健康・介護に関する不安はもちろん、このセレッソに希望することなどがいろいろあると思います  ＊その人らしく：思いを汲みとり、その人らしさを、関係するみんなで考えます  ＊暮らせるように：住み慣れた自宅だけでなく、家族の家や施設・病院など  ＊全力でお手伝い致します：何が良いと思われるかを常に考え、職員だけでなく、時には地域の方々の協力を得ながら、出来る限りのお手伝いをします | | | | | | | | | | | |
| 2 | * サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している |  | ☑ | | |  | | | |  | | | | 定期的な勉強会や情報共有は大切なことなので、これからもぜひ続けてください | * 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します * 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」 |
| ［具体的な状況・取組内容］  会議・勉強会で「理念・かんたきとは」について再確認を行っている。  　日々サービスを行うなかで、理念に沿っているか考えるようにしている。  　サービスの特徴については、スタッフ個々に差はあるものの、それぞれが理解と実践に努めている。  　個別ケアの検討会や日々のケアについて、理念に基づいているか管理者としてスタッフに問いかけ、実践に繋げている | | | | | | | | | | | |
| （２） 人材の育成 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| ① 専門技術の向上のための取組 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| 3 | * 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している |  | ☑ | | |  | | | |  | | | | 年間計画通りに実施することが難しい状況になることもありますが、頑張ってください | * 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します * すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 * 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」 |
| ［具体的な状況・取組内容］  個人目標の設定や進捗状況について時期を決め、面談している。  年間の勉強会の企画と、必要に応じて外部研修の受講計画あり。 | | | | | | | | | | | |
| 4 | * 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している | ☑ |  | | |  | | | |  | | | | 毎月行っておられ、素晴らしい。忙しい中、大変だと思うが頑張ってください  　スタッフ個々の能力に応じた対応は大切だと思う | * 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します |
| ［具体的な状況・取組内容］  　毎月の勉強会の計画に沿って、実施している。  　業務上必要な研修には、業務調整している。また、スタッフの能力に応じて外部研修に適宜参加してもらった  外部研修のお知らせは提示しており、必要に応じて参加できるよう業務調整している。 | | | | | | | | | | | |
| ② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| 5 | * 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている | ☑ |  | | |  | | | |  | | | | WEBツールでの情報共有は見習いたい  　情報共有を工夫され改善でき良かった | * 「情報を共有する機会」の充足度を評価します * 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます |
| ［具体的な状況・取組内容］  １回／月のワーカー会議と、ケアカンファレンスは随時行っている  情報共有方法の見直しを行いＷＥＢ上でのツールを使用し、スタッフ全員が確認できるようにしている | | | | | | | | | | | |
| （３） 組織体制の構築 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| ① 運営推進会議で得られた意見等の反映 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| 6 | * 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている |  |  | | | ☑ | | | |  | | |  | | * 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します |
| ［具体的な状況・取組内容］  今年度も新型コロナの影響で文書での開催が多く、要望・助言をいただくことが少なかった。 | | | | | | | | | | |
| ② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| 7 | * 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている |  | ☑ | | |  | | | |  | | | | スタッフ個々の働く意欲や環境に配慮されていることは素晴らしいと思う | * 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します * 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます |
| ［具体的な状況・取組内容］  パート職員を増やし、勤務希望や研修を考慮したシフトの作成  　家庭事情にもできる限り対応し、働き続けられるよう配慮している  　相談など、適宜面談で対応している | | | | | | | | | | | |
| （４） 情報提供・共有のための基盤整備 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| ① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| 8 | * 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている | ☑ |  | | |  | | | |  | | | 情報に明るい担当者がおられ、何よりです  　計画を必要に応じて変更し共有できていることは良いと思う。頑張ってください | | * 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の２つの視点から、充足度を評価します |
| ［具体的な状況・取組内容］  　前年度より、WEBでのツールを使用継続、情報の更新・共有を行った。  サービス計画・看護計画・介護手順等は担当者が更新している。 | | | | | | | | | | |
| （５） 安全管理の徹底 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| ① 各種の事故に対する安全管理 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| 9 | * サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている |  | ☑ | | |  | | | |  | | | マニュアルを更新し、現状にあったものにし続けることは難しいですが、頑張ってください | | * 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します   対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます |
| ［具体的な状況・取組内容］  「安全管理マニュアル」で事故防止策の確認  　事故・ヒアリハットの報告と改善策の共有は随時行っているが、同じ事例発生することも多いため、啓蒙が必要。  　必要時、手順書の追加も行った | | | | | | | | | | |
| ② 災害等の緊急時の体制の構築 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| 10 | * 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている |  | ☑ | | |  | | | |  | | ＢＣＰ作成完了と、リストの随時更新など素晴らしい | | | * 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します * 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます |
| ［具体的な状況・取組内容］  「災害マニュアル」の見直しを行った  　災害時の初動訓練や、夜間帯での行動確認を行った。利用者連絡リストも随時更新している。  　災害用グループラインも活用している  　BCP（事業継続計画）作成したが、今後見直しや追加が必要である | | | | | | | | | |
| Ⅱ　サービス提供等の評価 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| １．利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| （１） 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| ① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| 11 | * 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている |  | ☑ | | |  | | | |  | | |  | | * 「家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します * ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります |
| ［具体的な状況・取組内容］  計画作成者が、家族を含めた24時間の情報を収集、アセスメントを行い、計画作成している。介護・看護スタッフも訪問などのサービス提供時に積極的に情報収集し、計画担当者に報告している | | | | | | | | | | |
| 12 | * 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている |  | ☑ | | |  | | | |  | | | 情報共有も適宜行っておられ、素晴らしい  　介護職と看護職が連携できる仕組みがあり、良いと思う | | * 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します * 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます |
| ［具体的な状況・取組内容］  利用者ごとに、担当介護・看護スタッフがアセスメント用紙に記載し、情報を適宜更新している。  　ワーカー会議・ケアカンファレンスで利用者の情報交換を行い、ケアに活かすようにしている。 | | | | | | | | | | |
| ② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| 13 | * 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている | ☑ |  | | |  | | | |  | | | | 計画作成者は複数おられるのか？忙しそうな印象を受けます  　→計画作成担当者が交代し、初心者ですが、前任者のフォローを受け頑張っています。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、皆様の力をお借りして頑張っていきますので、どうぞよろしくお願い致します。 | * 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます |
| ［具体的な状況・取組内容］  計画担当者が1回／月、モニタリングにて本人・家族の思いを確認し、達成度の確認を行い、計画作成している  　各スタッフも適宜、本人・家族の思いを聞くようにしており、それに沿って看護計画・個別介護目標も設定している | | | | | | | | | | | |
| 14 | * 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている |  | ☑ | | |  | | | |  | | | | 利用者個々の状態に合わせての対応が実践できていることを高く評価します | * 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します * 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます |
| ［具体的な状況・取組内容］  利用者の状態を見極め、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指し、尊厳を守り、残存能力を活かした計画を作成、対応している。  　実際にADLが向上した利用者様もおられた | | | | | | | | | | | |
| ③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| 15 | * 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている |  | ☑ | | |  | | | |  | | | | 適宜計画を更新されていることを高く評価します | * 「状況変化の予測」と「リスク管理」の２つの視点から、充足度を評価します * 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です |
| ［具体的な状況・取組内容］  介護スタッフが気づいた状況変化や、看護師による医療面からのリスクの予測は、適宜計画担当者に伝え、計画に活かし、情報共有している | | | | | | | | | | | |
| （２） 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| ① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| 16 | * サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている |  | ☑ | | |  | | | |  | | | | 常に「気づき」に気を配っておられ、細かい配慮がいき届いていると感じます | * 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の２つの視点から、充足度を評価します |
| ［具体的な状況・取組内容］  訪問や施設でのサービス提供時に状態変化等、気づいた点は、情報共有に努め、必要時はカンファレンスなどを利用して、計画に反映している | | | | | | | | | | | |
| ② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| 17 | * 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している |  | ☑ | | |  | | | |  | | | |  | * 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します * 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です |
| ［具体的な状況・取組内容］  　計画作成者の自宅での面接や電話、介護看護スタッフの訪問時に生活状況の把握に努め、介護保険の理念である「公平・中立」に基づき、適切なサービス提供につなげるようにしている | | | | | | | | | | | |
| ③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| 18 | * 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている | ☑ |  | | |  | | | |  | | | | 適宜、各機関の多職種連携を図っておられ、素晴らしい | * 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します |
| ［具体的な状況・取組内容］  利用者の体調変化時には主治医と適宜連携している。福祉用具においても、状態変化に応じて情報共有し、適切な対応に努めている。  　計画作成担当者の適宜主治医医と連携している。  　毎月、主治医に看護報告書を提出している | | | | | | | | | | | |
| （３）介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| ① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| 19 | * 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている | ☑ |  | | |  | | | |  | | | | 得意分野を活かすことは良いと思う。見習いたい  　チームケアができていて高く評価します | * 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します * 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です |
| ［具体的な状況・取組内容］  役割・業務分担は明確にしており、情報交換を行いながらケアを行っている。効果的・効率的なサービス提供のため、医療行為以外はお互いに協力しながらケアを行っている。  　勉強会なども得意分野など考慮し、分担して行っている。 | | | | | | | | | | | |
| 20 | * 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている | ☑ |  | | |  | | | |  | | | |  | * 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します |
| ［具体的な状況・取組内容］  利用者ごとの担当の介護士・看護師が中心となり、情報発信をし、必要時ケアカンファレンスを行っている | | | | | | | | | | | |
| ② 看護職から介護職への情報提供および提案 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| 21 | * 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている |  | ☑ | | |  | | | |  | | | |  | * 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します * このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の１つとして期待されます |
| ［具体的な状況・取組内容］  看護師は、利用者の病状・体調変化時など、適宜情報発信し、適切なケアが提供できるよう具体的な内容を両者で検討している。介護職からも疑問があれば随時対応している | | | | | | | | | | | |
| （４）利用者等との情報及び意識の共有 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| ① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| 22 | * サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている |  | ☑ | | |  | | | |  | | | | 丁寧に説明しておられるようで、安心して任せられる体制ができていると思う  　わかりやすい言葉で説明する事は良いと思う | * 「利用者等の理解」について、充足度を評価します |
| ［具体的な状況・取組内容］  利用開始時には、施設の特徴などを説明し、利用料金も含めたうえで、サービスの組み合わせなどを協議し、納得が得られれば、利用開始としている。  　サービス変更時も同様。訪問時にも家族より話を聞くようにしている。  　できるだけわかりやすい言葉で説明するようにしている。 | | | | | | | | | | | |
| ② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| 23 | * 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている |  | ☑ | | |  | | | |  | | | | スタッフ間でも同じ情報を共有して対応されていることは大事なことと思う | * 「利用者等の理解」について、充足度を評価します |
| ［具体的な状況・取組内容］  担当者会議等において療養支援の重要性の説明を行っている  看護計画は利用者・家族に説明し、同意を得たうえで署名をいただいている  その他、必要な助言は適宜行っている  スタッフ間でも共有して同じ説明ができるようにしている。 | | | | | | | | | | | |
| 24 | * 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている |  | ☑ | |  | | |  | | | | | | 状況に応じた柔軟な対応は大変ですが頑張ってください | * 「利用者等の理解」について、充足度を評価します |
| ［具体的な状況・取組内容］  必要に応じて看護師の訪問や、通い利用時に一緒に練習もしている。緊急電話も受け付け、随時訪問も可能。 | | | | | | | | | | | |
| ③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| 25 | * 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している |  | ☑ | | |  | | | |  | | | | 日々の変化の様子を教えてもらいアドバイスいただける事はありがたい | * 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します |
| ［具体的な状況・取組内容］  状態に応じて家族に説明し、希望を聞き、サービス計画をたてている。  　体調が日々変化する場合も、こまめに家族と話をし、適宜サービス変更している。 | | | | | | | | | | | |
| 26 | * 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている |  | ☑ | | |  | | | |  | | | |  | * 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します |
| ［具体的な状況・取組内容］  体調や病状を考慮した長期的に予測される状況やリスクを、利用者・家族に説明し、他のサービスも含め、方針を決定するようにしている | | | | | | | | | | | |
| 27 | * 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している |  | ☑ | | |  | | | |  | | | | 記録に残すことは大切だと思う  　終末期ケアは大変ですが、スタッフ・関係機関のチームで本人と家族に寄り添って実践されています | * 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の２つの視点から、充足度を評価します * 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」 |
| ［具体的な状況・取組内容］  主治医からも説明をしてもらい、必要に応じて「看取りのパンフレット」を用いて説明している。状態変化に応じてもその都度説明している。状況や、家族の思いは記録している | | | | | | | | | | | |
| ２．多機関・多職種との連携 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| （１） 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| ① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| 28 | * 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している | ☑ |  | |  | | |  | | | | | コロナ禍で大変な中でも頑張っておられると思う | | * 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します * 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます |
| ［具体的な状況・取組内容］  可能な限り退院・退所前にはカンファレンスの機会を設けてもらうようにしている。コロナ禍でもあり、無理な場合は文書や電話での情報交換を行うようにしている | | | | | | | | | | |
| ② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| 29 | * すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている |  | | ☑ | | |  | | | |  | |  | | * 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します * 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です |
| ［具体的な状況・取組内容］  利用者全員、主治医より訪問看護師指示書をいただいており、考えられる状態変化に対し、予め家族の思いを確認のうえで主治医に相談するようにしている。  　情報はスタッフ間で共有している | | | | | | | | | | |
| ③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| 30 | * 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている |  | ☑ | | |  | | | |  | | |  | | * 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します |
| ［具体的な状況・取組内容］  訪問看護指示書の緊急時の連絡方法を確認の上、対応している。  協力医療機関として3病院と契約しているが、基本的には主治医に連絡して決定する。病院の空き状況で受け入れ困難時は救急搬送としている | | | | | | | | | | |
| （２） 多職種との連携体制の構築 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| ① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| 31 | * 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている |  |  | | | ☑ | | | |  | | | 今年度も仕方がない | | * 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します * そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 * 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です |
| ［具体的な状況・取組内容］  基本的に、会議には市職員や近隣住民代表の方や、他施設のスタッフにも参加していただき、施設の情報提供を行い、意見交換している。  今年度も新型コロナ対策として、文書での開催がほとんどであった。 | | | | | | | | | | |
| ３．誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| （１） 地域への積極的な情報発信及び提案 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| ① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信 | | | | | | | | | | | | | |  |  |
| 32 | * 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている |  |  | | | ☑ | | | |  | | | |  | * 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の２つの視点から、充足度を評価します |
| ［具体的な状況・取組内容］  議事録は掲示しているが、ほとんど閲覧されていない状況。HPなどインターネット上での発信はできていない。 | | | | | | | | | | | |
| 33 | * サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている |  | ☑ | | |  | | | |  | | | | 継続してください | * 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です * 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 * 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます |
| ［具体的な状況・取組内容］  新型コロナウイルス蔓延のため、集合活動はできなかったが、サービスの概要等も載せた「セレッソ新聞」を地域に配布した  SNSでも発信している | | | | | | | | | | | |
| （２） 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| ① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| 34 | * 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している | ☑ |  | | |  | | | |  | | | |  | * 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に｢指定なし｣と記入してください * 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施してないていない場合は、「全くできていない」 * 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します |
| ［具体的な状況・取組内容］  訪問看護は、積極的に実施している | | | | | | | | | | | |
| ② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ | | | | | | | | | | | | | | |  |
| 35 | * 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている |  |  | | | ☑ | | | |  | | | | 着実に受け入れ態勢を整えていけばいいと思います。  頑張ってください | * 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください * 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 * 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します |
| ［具体的な状況・取組内容］  吸引機器等は準備あり。夜間は看護師の待機で対応しているため積極的な受け入れはできていない。  　登録特定行為事業者登録済。認定特定行為業務従事者1人。現在スタッフ3名が研修受講中 | | | | | | | | | | | |
| 36 | * 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている |  |  | | | ☑ | | | |  | | | |  | * 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください * 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 * 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します |
| ［具体的な状況・取組内容］  受け入れには検討が必要。依頼なし。 | | | | | | | | | | | |
| 37 | * 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている | ☑ |  | | |  | | | |  | | | |  | * 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください * 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 * 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します |
| ［具体的な状況・取組内容］  受け入れ可能である。  　家族様の思いを聞き、施設や自宅での看取りなど、状況に応じて対応している | | | | | | | | | | | |
| （３） 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| ① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| 38 | * 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している |  |  | | | ☑ | | | |  | | | |  | * 「内容等の理解」について、その充足度を評価します * 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます * 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などがない場合は、「全くできていない」 |
| ［具体的な状況・取組内容］  　地域包括ケアシステムの理解はある。  　看多機の役割についてもまなび、適切な地域生活ができるよう支援している。 | | | | | | | | | | | |
| ② サービス提供における、（特定の建物等に限定しない）地域への展開 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| 39 | * サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している | ☑ |  | | |  | | | |  | | | |  | * 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します * 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます * 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」 |
| ［具体的な状況・取組内容］  羽曳野市全域を対象にサービス提供をしている | | | | | | | | | | | |
| ③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等 | | | | | | | | | | | | | | |  |
| 40 | * 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている |  | ☑ | | |  | | | |  | | | |  | * 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します * 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます * そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」 |
| ［具体的な状況・取組内容］  近隣地域における小規模分科会情報交換し、問題点などの解決策を模索している（コロナ対策・利用者確保など）  「セレッソ新聞」に健康の維持・疾病予防などの情報を掲載し配布した | | | | | | | | | | | |
| 41 | * 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている |  | ☑ | | |  | | |  | | | | | 忙しい中でのセレッソ新聞の発行に感謝している。日々の様子が写真等で分かり、喜んで楽しみにしている | * 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します * 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます * そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」 |
| ［具体的な状況・取組内容］  家族へは適宜、介護上の助言指導を行っている。  「セレッソ新聞」に介護の理解をしてもらえるような内容を掲載し、地域に配布した。 | | | | | | | | | | | |

| 番号 | 評価項目 | | 事業所自己評価 | | 運営推進会議における  意見等 | 評価の視点・  評価にあたっての補足 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| Ⅲ　結果評価 | | | | | |  |
| ① 計画目標の達成 | | | | | |  |
| 42 | * サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている | ①．ほぼ全ての利用者について、達成されている  ２．利用者の２/３くらいについて、達成されている  ３．利用者の１/３くらいについて、達成されている  ４．利用者の１/３には満たない | | | 継続頑張ってください | * 「計画目標の達成」について、評価します |
| ［具体的な状況・取組内容］  利用者・家族の思いを聞きとり目標設定し、スタッフがケアにあたっており、達成できている。 | | |
| ② 在宅での療養生活の継続に対する安心感 | | | | | |  |
| 43 | * サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている | ①．ほぼ全ての利用者について、達成されている  ２．利用者の２/３くらいについて、達成されている  ３．利用者の１/３くらいについて、達成されている  ４．利用者の１/３には満たない | | 継続頑張ってください | | * 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します |
| ［具体的な状況・取組内容］  医療・介護の視点から看護計画をたて、説明の上サービスを提供している。体調変化時など随時、家族の意向を確認し、主治医と連携している | |
| 44 | * サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている | ①．ほぼ全ての利用者について、達成されている  ２．利用者の２/３くらいについて、達成されている  ３．利用者の１/３くらいについて、達成されている  ４．利用者の１/３には満たない  ５．看取りの希望者はいない | |  | | * 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します * 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます * 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「５．看取りの希望者はいない」 |
| ［具体的な状況・取組内容］  主治医と共に、状態・状況に応じた説明とケアを提供している。家族とのコミュニケーションも密にとり、心身のサポートを行い、希望に沿った看取りをするようにしている | |